

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



コングシ出張の際、首都ワガドゥグの外れで見かけたスイカの露店。
果皮は黄緑色ですが、熟しています。

ご挨拶

寒さ厳しい日が続いていますが、皆様におかれましては、お変わりございませんでしょうか。暖かいブルキナファソに出張中のため、心苦しさを感じています。

気温差により意外さが倍加されるかもしれませんが、この時期、ブルキナファソではスイカを食べることが出来ます。日本と同じく北半球の国ですが、スイカが回るのは11月～2月頃です。ブルキナファソ出張時の楽しみのひとつ、です。

一方で、近年、ブルキナファソの治安を大きく脅かす事件が、首都ワガドゥグで起こっています。警察や軍では対策を強化していますが、国境を接する国が多いため警戒すべき国境線が長く、隅々までとはいかないようです。ブルキナファソ出張時の憂慮のひとつ、です。出張中は、一喜一憂は表裏一体、と強く感じます。

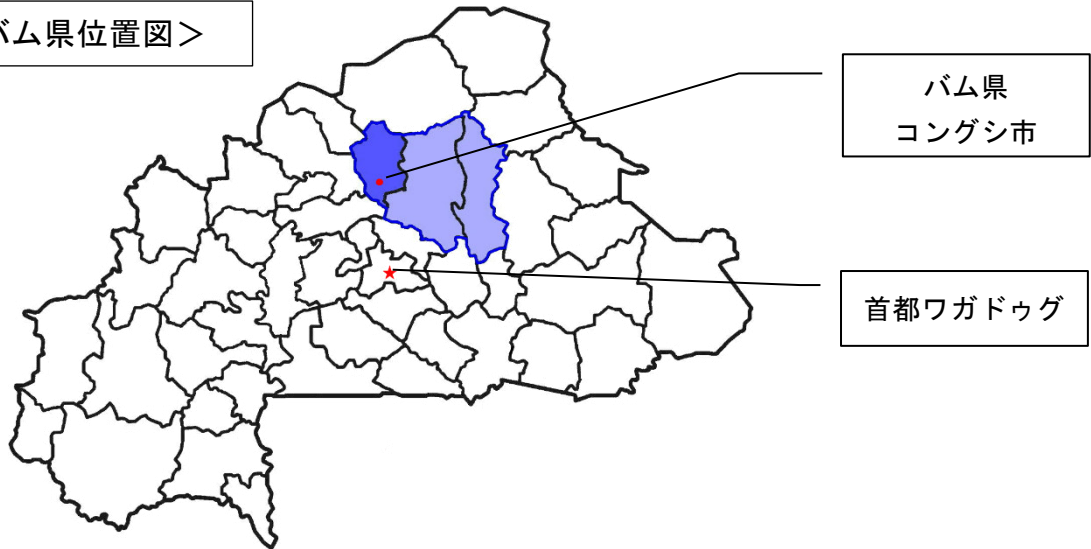
さて、実施しているプロジェクトでは、良い結果が出ています。収穫量や現金収入の向上により、家庭の状態は変わってきています。また、植林したユーカリが成長し、用材として販売し始めた住民が複数の村に出てきています。プロジェクトは半ば「緑のサヘル」の手を離れ、住民が進めている感さえあります。

最後に、暖かい場所から恐縮ですが、皆様のご健勝とご多幸を願っております。今後とも宜しくお願い致します。

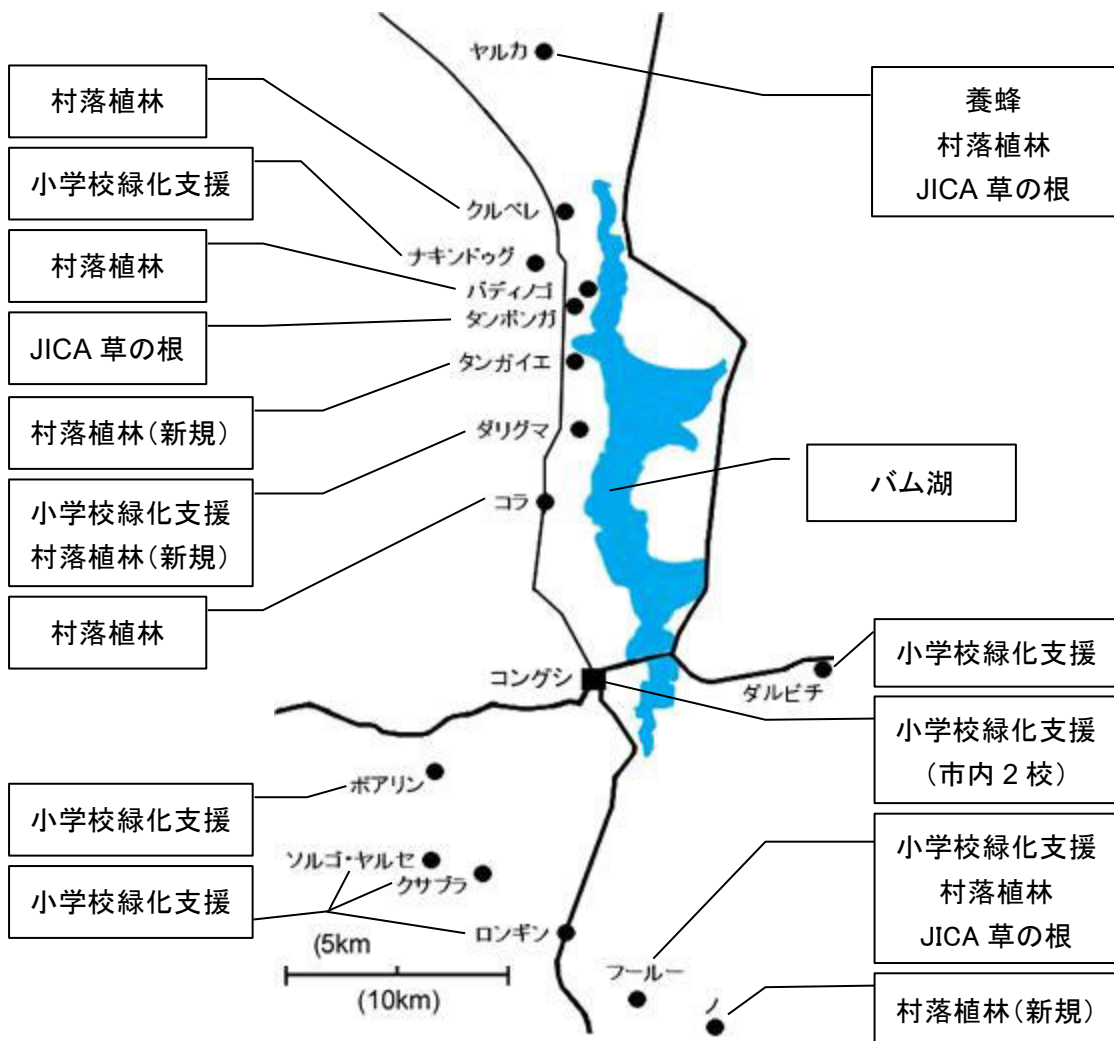
緑のサヘル 代表理事 岡本 敏樹

ブルキナファソの活動地域図

<バム県位置図>



<バム県コングシ地域活動実施村位置図>



ブルキナファソから 1



穀物や作物の収穫が終わりました。2017年の雨季は、9月以降に降雨の回数と量が減少し、年間降水量は614mmと例年よりもかなり少ない結果でした。しかし、ディゲット（石堤）やザイ（穴栽培）・堆肥活動を行なっている栽培地では、収穫量は増加しました。効果が実感できる一方で、対策が取られていない栽培地での収穫量が気にかかります。

JICA 草の根技術協力事業

<搾油>

3村の女性グループが取り組んでいる搾油活動ですが、タンポンガ村が搾油作業に使用しているコンプレッサー付手動搾油機が、12月下旬に破損してしまいました。破損箇所は、可動部の上部にある鉄板です。規定以上の圧力でレバーを操作したことが原因だと思われます。

圧力の上げすぎへの注意は、使用講習会で説明されていました。しかし、講習会に参加したグループのリーダーは、破損が生じたと思われる時、作業に立ち会っていませんでした。作業体制や情報の共有に不備があったと考えられます。



円筒を押し上げながら圧搾するため、破損状態では作業できません。（タンポンガ村）

製造・販売店のスタッフに見てもらったところ、修理にはワガドゥグまで移送する必要があるとのことでした。住民の資金では対応が難しいことから、現在、コングシ市で修理できないか調査しています。

<ディゲット・アンドロポゴン>

3村の各15名の栽培地を対象に実施しているディゲット活動ですが、現在、石運搬と設置が進んでいます。

この活動は、石で堤を作って終わりではありません。目指しているのは、石沿いに植えられたアンドロポゴン（チガヤ、イネ科多年草）の列によって、侵食防止・土中への浸水促進の効果が維持されることです。そのためには、アンドロポゴンが十分に成長した後に石を抜き、別の栽培地にディゲットが設置される、という工程が実現されなければなりません。



石が抜かれ、アンドロポゴン列だけになった部分。（タンポンガ村）

タンポンガ村の栽培地で、2012年に設置されたディゲットから石が抜かれ、アンドロポゴン列だけの区画ができました。住民の話では、石の列と同じ効果が得られている、とのことでした。ここまでに5年を要しましたが、今後も増えていくことを期待しています。

ブルキナファソから 2



村落植林プロジェクト

村落植林プロジェクトの対象村落と住民の再選定が終わりました。現在は、8 村 19 名の住民が取り組んでいます。8 村の位置は、コングシ地域の北から南まで分散しています。

再選定の際、ダリグマ村とタンガイエ村、ノ村の 3 村が新規に参加しました。このうちタンガイエ村の植栽地は、パディノゴ村に造成された植林地に近い場所です。将来的には、2 ヶ所の植林地がつながるかもしれません。

一方で、植栽した苗木が成長し、用材として販売が開始されている村・植林地があります。2017 年は、5 村 5 名の住民が販売を行いました。家屋等の建設に適した乾季、10 月～翌 1 月の間に販売されることが多いようです。合計 199 本が販売され、平均 108,300cfa（約 21,660 円）の利益がありました。



タンガイエ村の植栽地。右手奥に、パディノゴ村の植林地が見えます。（タンガイエ村）

チャドから



収穫は良好でしたが、3 月以降の食料事情が懸念されます

農業省の発表によると、2017 年の穀物収穫量は 5 年間の平均値より 3.2%多かったとのことです。現状では各家庭の備蓄状況は改善されており、十分な量を食べることが出来ています。しかし、収穫状況には偏りがあり、中央部の 5 州と南部の 2 州では、3 月以降、食料事情に懸念が生じるほど備蓄量が減少する、と予測されています。

良好な収穫のおかげで、市場の穀物価格は下がっており、5 年間の平均価格を下回る値段になっています。しかし、収穫状況がそれほど良くなかった地域では、平均価格よりも 7%高めの値段で売られています。

12 月の時点では、晩生のソルガム（モロコシ）であるベレベレの栽培が始まっています。収穫状況が思わしくなかった中央部は、ベレベレ栽培が行なわれる地域です。そろそろ収穫が始まりますので、備蓄状況と今後の食料事情が好転すればと思います。



グルニエ（穀物庫）に、収穫したソルガムを貯蔵している女性。（1997 年）

国内活動 1



今期は 11 月に岩手での講演を実施したほか、JICA（国際協力機構）や農林水産省が主催する研修で講師を務めました。また、環境省による懇談会での発表、「ミツバチサミット」への参加と、例年以上の慌ただしさとなりました。

< 東京事務局での主な活動一覧 >

2017 年					
11 月	7 日(火)	盛岡市立 桜城小学校	(5 年生 71 名)	講演	(菅川)
	8 日(水)	一関市立 花泉中学校		講演	(菅川)
		(1 年生 101 名・2 年生 111 名・3 年生 112 名)			
	9 日(木)	盛岡市立下小路中学校	(3 年生 184 名)	講演	(菅川)
	10 日(金)	一関市立 東山中学校	(2 年生 65 名)	講演	(菅川)
	11 日(土)	「ミツバチサミット 2017」 (~11/12)		参加	(本所・大谷)
	12 日(日)	「おいしいものせなか」(エコロジー&フェアトレード)		講演	(菅川)
		(花巻市：一般 8 名)		講演	(菅川)
	13 日(月)	盛岡市立 見前南中学校	(2 年生 152 名・3 年生 143 名)	講演	(菅川)
	15 日(水)	滝沢市立 滝沢東小学校	(5 年生 42 名)	講演	(菅川)
	17 日(金)	「JICA (国際協力機構) 草の根技術協力事業」情報交換会		出席	(大谷)
		盛岡市立 黒石野中学校	(2 年生 137 名)	講演	(菅川)
	18 日(土)	「緑のサヘル交流会」 (盛岡市：一般・NPO 10 名)		発表	(菅川)
	24 日(金)	「JICA 課題別研修」 (海外研修生 10 名)		講師	(菅川)
12 月	21 日(木)	「環境省 砂漠化対処に関する懇談会」		発表	(菅川)
2018 年					
1 月	19 日(金)	「農林水産省 海外派遣技術者研修」(関係職員 8 名)		講師	(菅川)

2017 年 岩手講演

毎年 11 月に行なっている岩手講演では、県内の学校や一般の方々を対象に、現地で進んでいる砂漠化の現状、危機的な状況にある住民の命と生活、住民と「緑のサヘル」の取り組みとその成果等を、画像を用いながら分かりやすく説明しています。

今回は 11 月 7 日から 18 日の日程で、4 市の計 9 か所（小学校 2、中学校 5、一般 2）で講演を行ない、計 1,182 名（小学生 108、中学生 1,005、教師 51、一般 18）の方々にお話しさせていただきました。

「緑のサヘル」は、一人でも多くの方に現地の窮状を知っていただくため、今後も講演活動に力を入れて行きたいと考えています。講演のご希望は事務局まで！



毎年熱心に話を聴いて下さる東山中学校の皆さん。後日、書き損じハガキを集めて送ってくれました。

国内活動 2



ミツバチサミット 2017

11月11・12日、「ミツバチサミット 2017」が、筑波大学において開催されました。

この催しは、ミツバチや送粉昆虫に関わる全ての人々が一堂に会し、それぞれの活動や研究成果を紹介することを通じてミツバチが直面している問題を共有し、その解決への道を提言することを目指して開催されるもので、今回が第1回となります。

期間中は、国内外から養蜂家、専門家、学生、企業など多分野の方々が参加し、当団体も、モンゴルで養蜂を活動の柱として地域の所得向上や環境保全に取り組んでいる「公益社団法人 国際農林業協働協会」(JAICAF)と合同で、「養蜂と国際協力」コーナーを設け、パネルや採取した蜂蜜の展示を行ないました。



当団体が作製した A1 サイズのポスター。



ミニセミナーには多くの方々が参加し、貴重なアドバイスもいただきました。

また、ミニセミナーやポスターセッションでは、現地の伝統的な養蜂、当団体の養蜂プロジェクトとその効果等を発表しました。参加されたほとんどの方が、アフリカの養蜂を初めて見聞きされたようで、昔ながらの伝統的養蜂箱やミツバチの生態について興味深く聞き入っていました。

現地で抱えている問題点に対して、ご自身の経験を交えて様々なアドバイスをしてくださった方々もあり、出来る所から取り入れてみたいと考えています。参加者の方々の「ミツバチ」への愛情がひしひしと伝わってくる素敵なイベントでした。

事務局より



Gooddo 一部支援機能終了のお知らせ

緑のサヘルでは、「無料でできる団体支援」として gooddo による「応援ポイント」をご紹介します。皆さまのご協力をお願いして来ましたが、これは、皆さまの応援クリックや「いいね!」に応じて連携企業等からご寄付をいただける、というものでしたが、残念ながら本年1月末日をもって終了となりました。

これまでご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。なお、「みんなの優待 by gooddo」等の支援機能については引き続き継続していますので、今後とも温かいご支援をよろしくお願いいたします。



ありがとうございました

* 敬称は略させて頂きました。

【 継続会員のみなさま 】

佐々木順平／福川佐代／中村洋／杉本和／浅輪哲司／西田陽子／加藤和雄／天野洋子
田中ちえ子／木嶋清江／野々山富雄／今野進／村井智恵子／田辺諄兒／内藤篤
柏原竜一／梅田暢子／稲葉洋子／宮田春夫／竹内信／金明希／和田隆資／鈴木幸子
國岡裕子／佐賀明子／後藤琢雄／瀬戸義子／野口鉄雄
こじまこどもクリニック／大阪信愛女学院小学校
他 匿名をご希望の方 4名

【 ご寄付を頂きました 】

武藤彰子／中久保慎一／馬場慶子／氏岡治代／加納愛子／鈴木潤／竹中和子／サトウイクコ
齋藤政宏・せい子／伊藤雄高／奥田勇生／土蔵愛子／石毛弘／田中ちえ子／梶野修平
須藤さい／小池昌子／木嶋清江／佐貫眞木子／賀川麻衣／太田弘子／山野上素充／西村豊子
勝間朋子／葛原睦子／宮本秀子／井上／住友俊子／田辺諄兒／伊藤敬子／高田日出男・恭子
梅田暢子／加藤均／村上和代／太枝純／榎本みつ枝／宮田春夫／伊藤淑子／佐藤弘美
太田宜子／森内和子／小林伸張／浅井賢太郎／松田曜子／森山繁／高木眞味子／尾上素子
徳永由希子／小島訓子／瀬戸義子
東京都立田無工業高等学校／かみひとネットワーク 蛸名健仁・加奈子
日本聖公会 西宮聖ペテロ教会／大阪信愛女学院幼稚園／個別教育フォレスト安多秀司
他 匿名をご希望の方 5名

【BOOK募金を通じてご寄付を頂きました】

佐羽内七瀬／松本恵子
他 匿名をご希望の方 2名

【 ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました 】

一関市立花泉中学校／齋藤政宏・せい子／米江勝彦／古川フミ子

上記は 2017 年 11 月 1 日から 2018 年 1 月 31 日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、2月 1 日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【 協力団体・助成団体 】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／(独)国際協力機構(JICA)
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(公財)イオン環境財団(環境活動助成)
緑の募金(管理団体:(公社)国土緑化推進機構)／(公財)国際緑化推進センター
isave(シーブ(株))／アフリカ料理 トライプス／gooddo(株)
ジャパンギビング／(財)農村更生協会 ハケ岳中央農業実践大学校
(特活)国際協力 NGO センター／(特活)環境アリーナ研究機構
URBAN GREEN MAKERS (株)アールオーエヌ／(株)プレジャーワークス
ソーシャルアクションリング／マチウケル(株)廻船問屋
(財)環境メディアフォーラム／かざして募金 ソフトバンク／日蓮宗あんのん基金

【 写真を提供しました 】

(株)ビザビ『地球温暖化学習パンフレット』
名古屋市環境局環境活動推進課『私たちのくらしと地球温暖化』

「緑のサヘル」からお知らせ

年賀状の書き損じ・ハガキ・切手などは「緑のサヘル」へ！

皆さんの家に、書き損じハガキや年賀状、未使用切手、余っている商品券や図書券はありませんか？ もしありましたら、「緑のサヘル」までお送り下さい！

事務局では、これらお送りいただいた品々を通信業務に活用させていただいており、とても助かっています。



たとえ書き損じハガキでも、手数料を払うことによって新しいハガキや切手に交換することが出来ます。

随時受付中ですので、ご協力をお願い致します！！

【 もくじ 】

- | | |
|------------------|------------|
| 1・・・表紙 | 5・・・国内活動 1 |
| 2・・・ブルキナファソ活動地域図 | 6・・・国内活動 2 |
| 3・・・ブルキナファソから 1 | 事務局より |
| 4・・・ブルキナファソから 2 | 7・・・ありがとう |
| チャドから | 8・・・お知らせ |

< スタッフよりひと言 >

● ブルキナファソは毎日晴天ですが、砂ぼこりが舞い、空が茶色になることがあります。暑さの到来を告げる風、ハルマッタンの先触れです。（岡本）

● 最近、講演や研修講師の依頼が増えて来ました。様々な依頼や要望にお応えするのは大変ですが、団体の社会的な評価と知名度が高まりつつある喜びを感じながら、頑張っています。（菅川）

● gooddo のクリック募金が終了しました。コンスタントな寄付をいただきありがたかったです。毎日家族でクリックし、1000 ポイントを50 回も出したというO さんにあらためて感謝です。（本所）

● ブルキナファソ事務所に、新たな仲間「ニワトリの夫婦」が加わりました。ただいま彼らの"お家"を製作中。順調にいけば、ヒナ誕生⇒ファミリー（家族）の大作進が見られるかも〜♥と期待膨らむ。（大谷）

ご贈答品・ご挨拶に
どうぞ

♪ メニューがリニューアルしました ♪

ハケ岳農場の特産品

「ハケ岳中央農業実践大学校」の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々。おなじみのチーズ・アイスクリーム・カレーに、卵・乳製品が加わりました。送料を含めた価格は下記の表のとおりです。

大学校のご厚意により、お求めごとに
定価の 20 % が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、ご依頼人様とお届け先のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振込みください。

00120-7-419488「緑のサヘル」

お振り込みからお届けまで10日程かかります。

		関東 信越 北陸 中部 南東北	関西 北東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	4,644	4,752	4,860	4,968	5,076	5,616
B	3種アイス 10個	4,968	5,076	5,184	5,292	5,400	5,940
C	アイス6個	3,564	3,672	3,780	3,888	3,996	4,536
D	チーズ3種	4,536	4,644	4,752	4,860	4,968	5,184
E	カレー2箱/ チーズ5種	6,048	6,156	6,264	6,372	6,480	7,020
F	ヨーグルト/ 牛乳	2,916	3,024	3,132	3,240	3,348	3,888
G	カレー6箱	4,320	4,320	4,536	4,644	4,752	5,292
H	青卵12個 / ジャム2種	3,996	4,104	4,212	4,320	4,428	4,968
I	赤卵30個	1,728	1,836	1,944	2,052	2,160	2,700
J	アイス20個	7,668	7,776	7,884	7,986	8,100	8,964

※カレーは現在、中辛のみのご注文となっています。

内容の詳細をご希望の方は、事務局までご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie !

Vol.73

編集 岡本敏樹 菅川拓也 本所稚佳江 大谷恵美 / 印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 (特活) 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町 16 番地 N A S ビル 3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041